

長命ヶ丘地区社協だより

令和 6 年 12 月発行

長命ヶ丘地区社会福祉協議会

発責：秋保 明

10月
26日

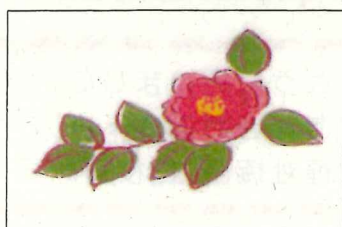
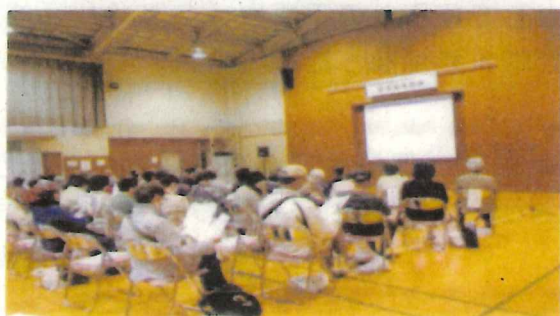
「人生 100 年時代を豊かに生きる」
お元気交流会を開催しました

*福祉事業振興
助成金活用事業

10月26日(土)に市民センターホールで令和6年度「お元気交流会」を開催し、約90名の参加がありました。今年度から「人生100年時代を豊かに生きる」をテーマにして、長命ヶ丘地区の住民は誰でも参加できることとし、メインプログラムとして、ドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』(信友直子監督：上映時間48分の短縮版)を上映いたしました。広島県呉市で生活している監督の両親の実生活を撮影したもので、認知症の進行に苦悩する87歳の母親とその母親を介護する95歳の父親を、一人娘の視線で撮影した作品です。

閉会後に、わざわざ会場に戻って来られ、「いろいろ考えさせられる映画でした」と語っていかれた方もおられて、参加者それぞれが感想を持つことができました。また、交流会参加の記念にガーベラを一輪ずつお持ち帰りいただきました。

なお、この度の実施に当たりましては、「特定非営利活動法人 まちづくりスポット仙台」様並びに長命ヶ丘四丁目在住の齊藤様に多大なるご協力を賜りました。この紙面を借りて心より御礼申し上げます。



10月
4日

ふれあい健康講話会を開催しました

(長命ヶ丘亀楽会協賛：長命ヶ丘地域包括支援センター協力)

仙台市社協×仙台市健康増進センターコラボ企画

10月4日(金)に市民センターで令和6年度「ふれあい健康講話会」を開催しました。今回は仙台市社協と仙台市健康増進センターとのコラボ企画として、健康増進センターの三浦久代様に『フレイル予防でいきいき健幸生活～健康的で活動的なライフスタイルへ～』と題して、講話と実技指導をして頂きました。三浦様からは「少しずつでも毎日継続的に体を動かすことが心身の健康維持に重要である」とのアドバイスを頂きました。



今年は長命ヶ丘亀楽会様の協賛及び長命ヶ丘地域包括支援センター様の協力を得て、60数名の参加があり、好評のうちに終了いたしました。



本間さんのミニ福祉講座 シリーズ2

人生を豊かに生きる！

本間 照雄 氏 (民生委員・児童委員／地域福祉研究所主宰)

前回は、「福祉」に対するイメージの誤解について書きました。今回は、介護保険制度の想定外について書きます。

平成12年4月に始まった介護保険は、誰もが遠慮しないで介護サービスを使えるように、措置制度(行政が決める)から保険原理を導入した契約制度(個人が決める)に大改革しました。このことを「介護の社会化」と表現しています。

この制度で、介護サービスは使いやすくなりました。同時に介護業者・専門職がサービスを調整するので、これまで何かと気遣っていた近隣の方々は、関わることを遠慮するようになってしまいました。更にその遠慮に拍車をかけたのが、過度の「個人情報保護」の受け止め方です。何でも個人情報保護といい、お互いに関わることを遠慮してしまい、結果として何らかの不便さを持つ方々との接点が取れ難くなったので

す。

「お互い様」や「ささやかなおせっかい」が地域から消えていく大きな要因です。直接の介護は、介護業者任せで良いのですが、地域で暮らすときの安全安心は、介護サービスだけでは全く不足します。一人暮らしや老老二人世帯が多くなっている現在、近隣のわずかな声かけや気遣いは、以前にも増して大切になっています。

私たちの社会において「あたりまえ」であった、「お互い様」「ささやかなおせっかい」をもう一度思い出し、地域みんなで築く安全安心に一步踏み出しては如何でしょうか。繰り返しますが、「福祉」は困った人のためにだけあるものではありません。全ての人々が安心して「住み慣れた地域で暮らし続ける」ための基礎体力づくりです。みんなで取り組んだ方が絶対に楽しいし楽です。

本年も、本会の諸活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

来年も、ご支援をよろしくお願い申し上げます。皆様良いお年をお迎え下さい。

長命ヶ丘地区社会福祉協議会 役員一同